



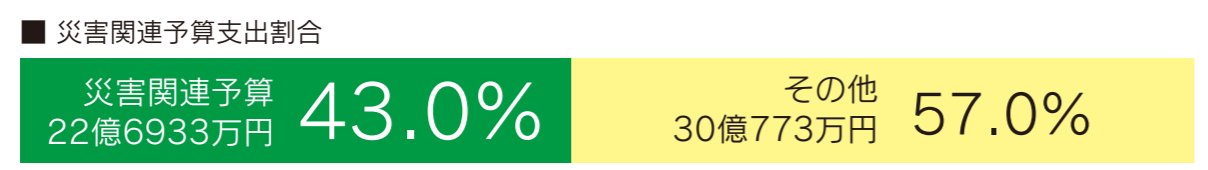
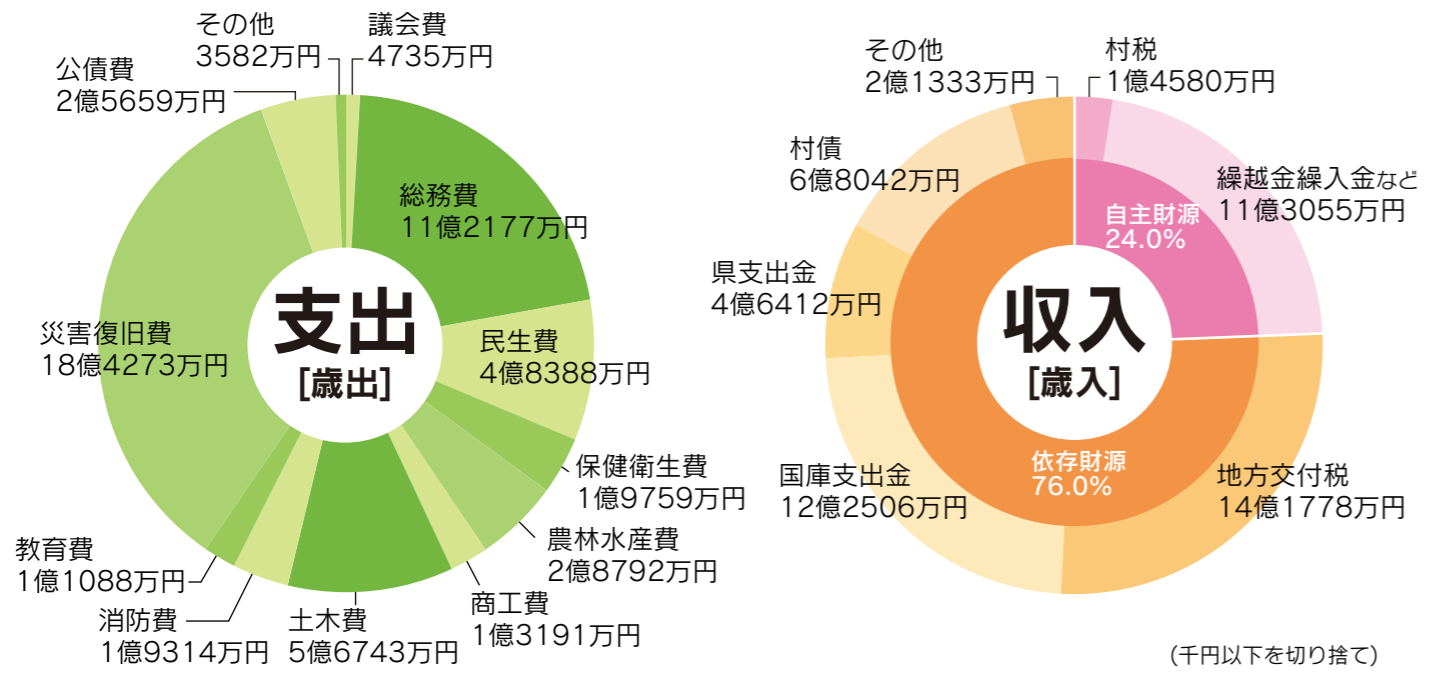
ココに注目!

村の予算をどう考える《トピックス》 P2

今年の注目事業《トピックス》 P4

どげんなっちょる? 《一般質問》 P11

一般会計予算 52億7706万円(0.1%増)



特別会計予算

簡易水道

1億1552万円 (37.1%減)

■ 災害関連予算支出割合

災害関連予算 5600万円	48.5%	その他 5952万円	51.5%
------------------	--------------	---------------	--------------

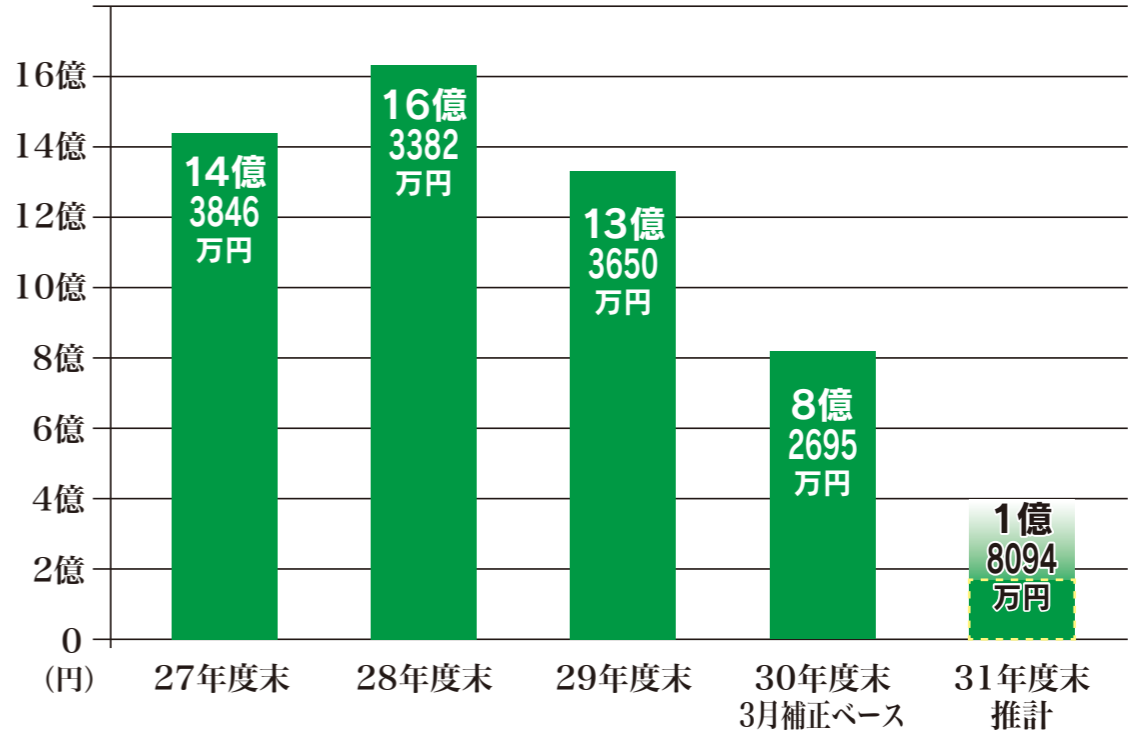
国民健康保険

3億1991万円
(2.7%減)

後期高齢者医療

4121万円
(1.5%減)

財政調整基金残高推移



※31年度末推計については、平成30年度決算確定により繰越金が発生するので、増えることを予想しています。

平成31年3月定例会において平成31年度一般会計及び特別会計予算が可決成立しました。本年度は平成29年九州北部豪雨災害発生から3年目となり、災害復旧工事の進捗もピークを迎えます。

復旧工事等は、国・県からの補助がある一方で、人件費や復旧工事にかかるコンサル委託(技術委託)に費用がかかっています。上のグラフの財政調整基金の推移を見ていただくと、28年度末に16億あった基金が31年度末には1割ほどに減少します。議会でもこの状況に注視し、国・県へ村とともに特別交付税措置等の要望書の提出や要請活動を行っています。

財政調整基金って何? 議会ふしぎ発見!

財政調整基金とは、年度によって生じる財源の不均衡を調整するために、財源に余裕がある年度に積み立てておくもので、地方自治体の貯金のことです。

本来、地方自治体は、経済不況等による大幅な税収減によって収入が不足したり、災害の発生による多額の経費の支出が必要になるなどの不測の事態に備え、財政調整基金を積み立てておく必要があります。

3月定例会
(3/7~15...9日間)

[本会議]	
7日・8日	一般質問
13日	議案審議
[予算審査特別委員会]	
11日・12日	質疑
13日	討論・採決

えびす川河道改修事業
3428万円

えびす川の拡幅及び河床掘削等の改修工事を行なうもの。

スクールバス買い替え
907万円

宝珠山方面を運行中のマイクロバスを耐用年数の経過により買い替え予定。

棚田景観保全プロジェクト事業
8996万円

3か年計画の最終年度。農産加工施設整備、岩屋キャンプ場コテージ改修等を実施予定。

地域おこし協力隊
3900万円

ライスセンター1名、農家レストラン1名、東峰テレビ2名、広報1名、伝統産業会館1名、ゲストハウス1名、ふるさと納税1名、保育所1名が活動予定。

トーキコーディネーター事業
5000万円

小石原焼のデザイン開発や販売ルートの開拓などを行う地域商社を設立。

検討の余地あり!

議会では、本事業の目標達成のためには組合員全員の意思統一が必要ではないか等の意見が出されました。まだ十分に検討する必要があるため、執行する時は議会と協議し、合意の上行うように求めています。

質疑あれこれ

水道・ケーブルテレビの料金値上げはあるのか?

議員 災害により水道施設の損傷もあり、今後の水道料金に影響はあるのか。

担当課 維持補修等にも費用がかかっている。31年度に経営計画を立てる中で、維持補修や更新にかかる費用を積み上げ、料金を検討していきたい。

議員 ケーブルテレビ審議会で、ここ数年担当課から値上げの必要性について説明を受けているが、現状は。

担当課 ケーブル敷設から10年経過し、更新には数億単位の費用がかかる見込み。今のうちから受益者負担を考える必要があることから、31年度に検討すべきと考えている。

誰もが来やすい子育て支援センターを!

議員 子育て世代包括支援センターはどこに設置されるのか。

担当課 31年度は保健福祉課内に併設し、子育て世代が気軽に来られる体制づくりを考える。

村民センター改修は女性や弱者へ配慮した設計を!

議員 災害時は水の運搬が大変だったが、水量の少ないトイレの設置等は検討されているか。

担当課 トイレの洋式化について便器の選定等まで行っていないが、導入を検討する。

議員 大規模災害の時には避難所は、性犯罪も起きやすい。トイレや厨房等の改修には女性の意見を反映できないか。

担当課 せっかくの機会なので、ご意見を伺いながら行いたい。

観光資源として九州自然歩道の整備を!

議員 九州自然歩道を観光資源として活かせるよう、看板等の整備を隣接市町村と協議すべきでは。

担当課 現在、現地の標示はかなり劣化しているものもあり、案内としては見にくい状況である。担当間で話し合う機会がないので、前向きに検討したい。

地域おこし協力隊の活動をもっとフォローすべきでは?

議員 協力隊の人数が増えて活動の把握やフォローが難しくなっているのではないかと。今後協力隊を卒業するOB隊員を指導役等にすべきではないか。

担当課 これ以上増えると手が足りなくなる。今後はOB等の利用を考えていく。

棚田景観保全プロジェクトはどうなるの?

議員 ゲストハウスの建設事業は中断しているが、どのように設計変更されたか。

担当課 設計が過剰であったのではないかと。2階を使用しないことや食事提供施設も外す等の見直しを行った。1、2割上がっている工事費に合わせ、仕様を落とさないように設計している状況。

議員 農産加工品開発委託費500万円について、つづみの里加工場など村内既存施設やグループ等を活用しないのか。

担当課 竹地区の皆さんが作ったお土産を販売することを考えている。

平成31年度一般会計予算 討論

反対

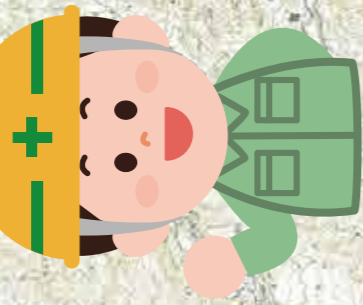
高倉議員 昨年2度もゲストハウス建設入札不調がありながら再度3700万円の一般財源を投入するのが本筋にいいのか。財政調整基金が少なくなっている中、やってみないとわからない事業にかかる予算は認められません。

賛成

黒川議員 現在災害復旧が進んでいる中、これをストップするわけにはいきません。1日も早い復旧のためにも必要であります。

工事はどこまで進んだか？

復旧への道のり（公共災）



図の**赤枠**は今回新たに完成した箇所です。前回完成した箇所は表から削除しています。



第373号
第441号
第259号
第440号

第218号

第29号
第143号

第141号
第443号

第445号



竹の上 公共災第366号 (竹)



湯の谷 公共災第359号 (鼓北)



サキハバル 公共災第262号 (上福井)

第434号

第430号

第369号

第302号

第359号

第433号

第361号

第257号

第431号

第303号

第214号

第197号

塔の元交差点

第262号

第217号

第198号

第139号

第137号

第483号

第196号

第362号

第523号

第495号

第195号

第138号

第92号

第88号

第530号

第494号

第308号

第437号

第261号

第360号

第531号

第260号

第216号

第482号

第520号

第365号

第491号

第487号

第363号

第305号

第27号

第304号

第5号

第364号

第481号

第439号

第438号

第27号

第304号

第5号

第364号

第481号

第439号

第438号

第195号

第138号

第92号

第88号

第530号

第494号

第308号

道路・河川・橋梁災害復旧事業工事箇所（村工事）

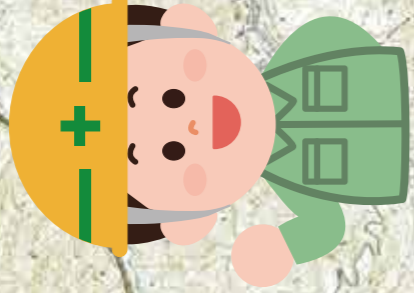
平成31年3月末現在

凡例	完成	発注済	未発注	合計
道路	16箇所	17箇所	7箇所	40箇所
河川	23箇所	37箇所	10箇所	70箇所
橋梁	0箇所	1箇所	4箇所	5箇所
計	39箇所	55箇所	21箇所	115箇所

掲載箇所について、詳しくはこの番号で役場 災害対策室 72-8011（公共災）までお問い合わせください。

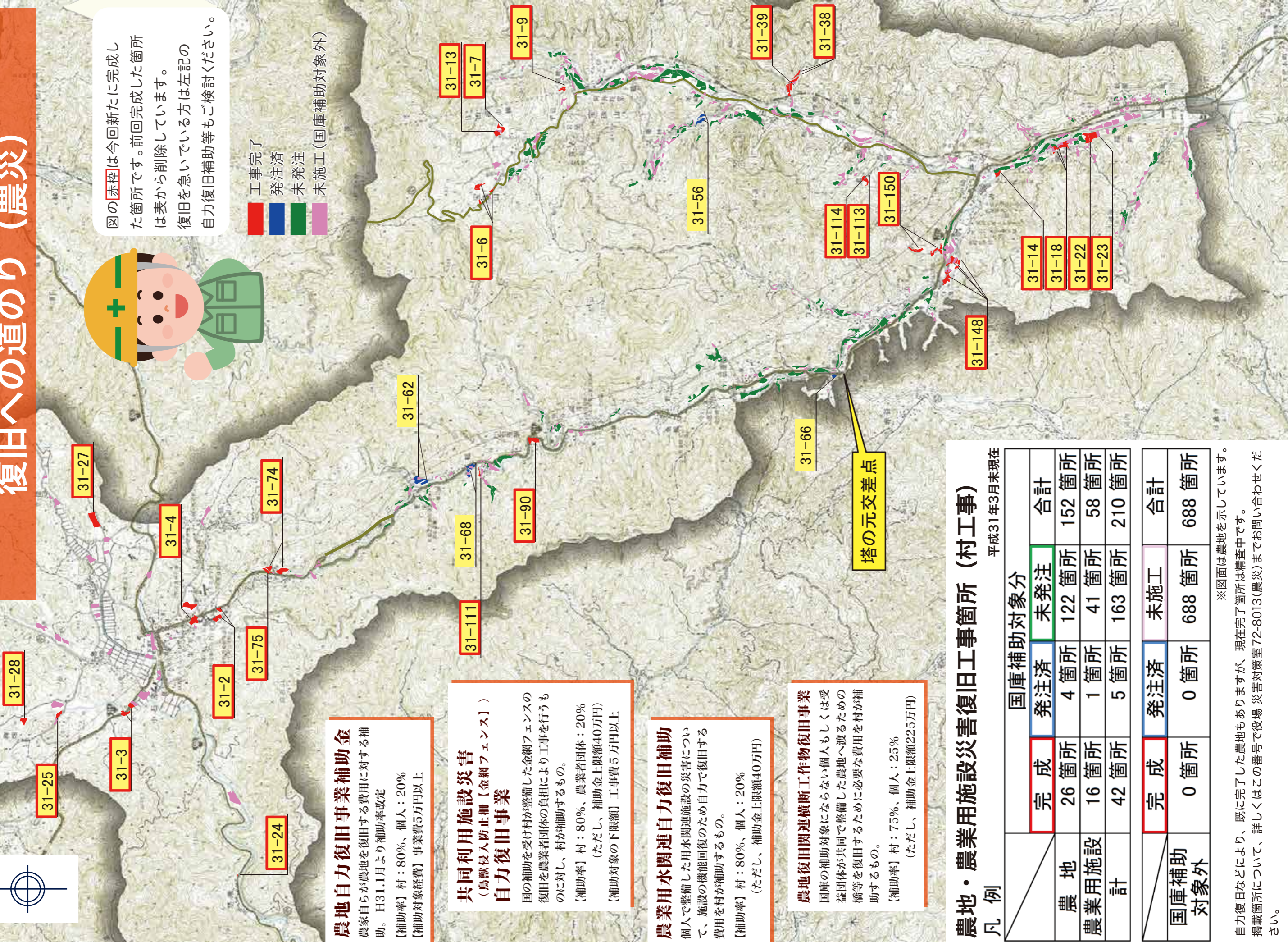
工事はどこまで進んだか？

復旧への道のり（震災）



図の赤枠は今回新たに完成した箇所です。前回完成した箇所は表から削除していません。復旧を急いでいる方は左記の自力復旧補助等もご検討ください。

- 工事完了
- 発注済
- 未発注
- 未施工（国庫補助対象外）



農地自力復旧事業補助金

農家自らが農地を復旧する費用に対する補助。H31.11月より補助率改定
 【補助率】村：80%、個人：20%
 【補助対象経費】事業費5万円以上

共同利用施設災害

（鳥獣侵入防止柵【金網フェンス】）

自力復旧事業

国の補助を受け村が整備した金網フェンスの復旧を農業者団体の負担により工事を行うものに対し、村が補助するもの。
 【補助率】村：80%、農業者団体：20%
 （ただし、補助金上限額40万円）
 【補助対象の下限額】工事費5万円以上

農業用水関連自力復旧補助

個人で整備した用水関連施設の災害について、施設の機能回復のため自力で復旧する費用を村が補助するもの。
 【補助率】村：80%、個人：20%
 （ただし、補助金上限額40万円）

農地復旧関連横断工作物復旧事業

国庫の補助対象にならない個人もしくは受益団体が共同で整備した農地へ渡るための橋等を復旧するために必要な費用を村が補助するもの。
 【補助率】村：75%、個人：25%
 （ただし、補助金上限額225万円）

農地・農業用施設災害復旧工事箇所（村工事）

凡例

平成31年3月末現在

	国庫補助対象分			合計
	完成	発注済	未発注	
農地	26箇所	4箇所	122箇所	152箇所
農業用施設	16箇所	1箇所	41箇所	58箇所
計	42箇所	5箇所	163箇所	210箇所
国庫補助対象外	完成	発注済	未施工	合計
	0箇所	0箇所	688箇所	688箇所

※図面は農地を示しています。

自力復旧などにより、既に完了した農地もありますが、現在完了箇所は精査中です。掲載箇所について、詳しくはこの番号で役場 災害対策室72-8013(震災)までお問い合わせください。

どげんなっちゃう？

一般質問

1. 伊藤 均 議員
新規採用職員の採用状況は
2. 長澤 貞義 議員
駐在所跡が駐車場から店舗になった経緯は
3. 黒川 隆康 議員
高齢者タクシー券の規定改定は出来ないか
4. 梶原 光春 議員
県災害工事の未発注箇所は
5. 梶原 伯夫 議員
道の駅前から皿山に通じる村道の拡張は
6. 大蔵 久徳 議員
今後の森林管理のあり方は
7. 高橋 弘展 議員
人口減少に歯止めがかからない原因は
8. 高倉 寛視 議員
幼い子どもたちを虐待から守る対策は

15

14

14

13

13

12

12

11

議員 土木技術職の任期付職員5名の募集目的は何か。
村長 将来、地方自治体等の職員派遣がなくなることや、コンサルからの業務委託での雇用は人件費が高額であるので、任期付職員で対応し、人件費を軽減するため。

議員 村内からの応募はあったのか。
村長 村内からは、2名の応募があった。

議員 平成31年度の新規採用職員試験が実施されたが、採用状況はどうか。
総務課長 職員採用試験は、一般事務職3名、土木技術職1名を募集。7名の受験があり、一般職を3名採用した。土木職は、応募がなかった。



伊藤 均 議員
新規採用職員の採用状況は
総務課長 一般事務職員を3名採用した

議員 災害復旧工事に完了見込みはどうか。
建設水道課長 年度末完成見込みとしては、公共災は48件で42%・農災は14件で7%・林道災は52件で70%・水道災は9件75%。
議員 災害復旧工事の完了見込みはどうか。
建設水道課長 公共災は31年度内に100%の発注を目指している。農災は福岡県との兼合いがあるので厳しい状況と推測している。



議員の想い
できれば村内に居住していただきたい

第1回臨時会(2月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
契約	可決	工事請負契約の締結について(岩屋駅前橋道路災害復旧工事・竹布川河川災害復旧工事・宝珠山川河川災害復旧工事①・宝珠山川河川災害復旧工事②)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認	専決処分の承認を求めることについて(杷木・宝珠山線道路災害復旧工事契約変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認	専決処分の承認を求めることについて(大肥川河川災害復旧工事契約変更・横井川河川災害復旧工事契約変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	承認	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第6号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	承認	専決処分の承認を求めることについて(損害賠償)	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第2回定例会(3月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	伊藤均	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
条例	可決	東峰村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
規約	可決	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
契約	可決	工事請負契約の締結について(古城原川河川災害復旧工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	平成30年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第7号)について	○	○	○	●	○	○	○	○	○
	可決	平成30年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	可決	平成30年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	平成31年度東峰村一般会計歳入歳出予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	平成31年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
当初予算	可決	平成31年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	平成31年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	平成31年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
選任	同意	甘木・朝倉広域市町村圏事務組合等公平委員会委員の選任について(2名)	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議	可決	天皇陛下御即位30年を祝す賀詞について	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他	可決	村道路線の変更について(宝珠山停車場線)	○	○	○	○	○	○	○	○	
	可決	東峰村ほたる館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	

予算審査特別委員会議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	佐々木紀嘉	大蔵久徳	長澤貞義	高倉寛視	高橋弘展	泉守	黒川隆康	梶原光春	梶原伯夫
当初予算	可決	平成31年度東峰村一般会計歳入歳出予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	平成31年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	平成31年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	平成31年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○



長澤 貞義 議員

駐在所跡が駐車場から店舗になった経緯は —— 村長 店舗建設が過疎債対策事業になる

議員 県管理の小石原駐在所を村が建て替えることになった動機は。
村長 建物の老朽化等もあったが、道の駅駐車場が狭く、役場駐車場との動線を良くする発想である。

村長 テナント募集をしていたが応募者がいなかった。今年1月に賃貸契約をした。

公用車について

議員 電気自動車導入により、災害時やポンプ操法練習時の投光器への電気供給において、より静かな環境となるのでは。
村長 軽自動車のバン等が多く、ハイブリッド車かプラグインハイブリッド車でないかと、難しいのではないかと思う。

議員 駐車場整備から店舗建設に変わった経緯は。
村長 駐車場整備だけだと村単独の事業だが、店舗建設もあれば過疎対策事業になり、村の負担が減る。

議員 店舗建設前に利用計画があったのか。過疎事業となるので行ったのでは。
村長 あくまでも道の駅の駐車場拡張のために行った。過疎事業となるから店舗を建てたわけではない。

議員 建設された店舗は、完成してからいまだに利用されていないが。



議員の想い
軽バン型の電気自動車もありますよ



梶原 光春 議員

県災害工事の未発注箇所は —— 建設水道課長 31年度以降発注予定

議員 県工事の未発注箇所はどのくらいあるか。
建設水道課長 大肥川は、宝珠山川合流地点より下流域と喜楽来館の上下流域、宝珠山川は金剛野橋下流から岩屋橋駅前付近までが31年度以降発注予定。県改良事業は29年度から33年度までの事業期間となる。

総務課長 今は考えていない。足りないときは、使用制限していない基金を廃止し、振替える方法しかないと思っている。

議員 河川と隣接する農地の復旧工事業期間は。
災害対策室長 河川災害改良については5年間となるので、細かな対応につとめていきたい。



伊王寺橋付近

議員 復旧工事費用の財源確保は大丈夫か。足りない時は、村債を発行する考えがあるのか。

議員の想い
一日も早い河川復旧を望みます



黒川 隆康 議員

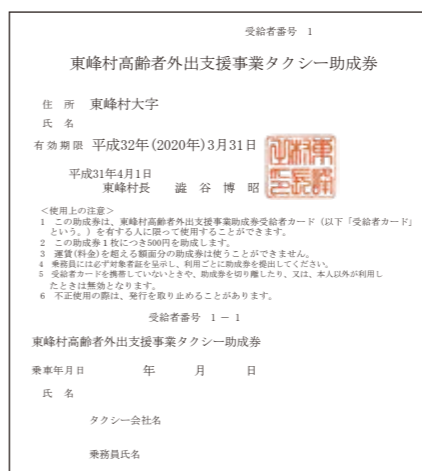
高齢者タクシー券の規定改定は出来ないか —— 村長 見直しを指示している

議員 現在、タクシー利用券は年間96枚を支給しているが、全て使い切る人は何名か。
保健福祉課長 昨年度100%使用者は1名、90%以上の使用者は5名。

見直しは出来ないのか。
企画政策課長 様々な考え方がある中、現実的には各時刻で利用されている方もいる。調整についてはいろいろ考えなければいけないと思っている。

議員 利用率が非常に低い。その原因は利用規定にあると思う。年間の使用枚数は変えずに自由に使える枚数を増やせないか。
村長 500円券を年間120枚配布するよう見直しを指示している。一度に使うとその後なくなるので半年ごとに60枚の助成を行えるよう作業を進めている。4月1日から実施したい。

西鉄バス運行について
議員 高齢者の方々が買い物等で西鉄バスを利用した時、到着して発車までの時間が短いため大変不便である。発着時間の



議員の想い
タクシー券を利用し、高齢者がより外出しやすい環境を



梶原 伯夫 議員

道の駅前から皿山に通じる村道の拡張は —— 村長 将来的には、実施していく

議員 道の駅前の村道と民有地の境界が違っていると聞いたが、どうか。
村長 問題点については把握しているので、改修工事等で解消していく。

議員 今後、旧小石原小の改修工事及び利用も始まるので、道の駅前から小石原グラウンドまで、早く村道を拡張できないか。
村長 地元等からも要望が出ているので、通称一本杉までの拡張は、将来的にはやっていかなければならない。だが、もう少し時間はかかる。

議員 現地権者との話はどうなっているか。
建設水道課長 村と現地権者双方で地籍図等により問題点を確認している。

議員 このような村との約束事は他にもあると聞いたが、把握しているのか。
村長 即答は難しいが、念書・文書等があれば守っていかねばならないと思っている。最近では、必ず答弁書を返している。



道の駅前から皿山方面

議員の想い
ここが広くなれば民陶祭時の通りがよくなるだろうな



大蔵久徳 議員

今後の森林管理のあり方は ― 村長 県・林野庁と調整して進める

議員 九大の災害復旧支援団から、森林管理のあり方が求められるという報告があった。これを受けての考えは。

村長 九州北部豪雨災害では、森林または林道、作業道が要因となったケースは多々あると思われる。今後の森林管理は多くの課題を抱えているが、問題は実施に向けて村単独ではできないこと。県あるいは林野庁と調整を図り進めていく。

議員 林道災は発注が100%終わっているが、排水に配慮した工事が行われているのか。

災害対策室長 災害対策については原型復旧が基本であり、復旧することでもこれまでよりも排水対策が行われていると認識している。

議員 今年の4月から森林経営管理制度がスタートするが、それ



林道被災箇所

※森林経営管理制度

林業の成長産業化の実現と森林資源の適正な管理の両立を図る新たな制度。

に向けて村として何をやってきたか。

農林観光課長 県の説明会が2回ほどあったが、まだ準備段階であり、どういった方法で進めていくかの説明を受けているところである。

議員の想い

今後の作業道等の工法を検討してほしい



高倉寛視 議員

幼い子どもたちを虐待から守る対策は ― 教育長 関係機関との連携を進めていく

議員 子どもたちへの虐待のニュースを多く耳にする。本村においてはそのようなことはないと思いが、今までに村内でこのような事案はあったのか。

教育長 各家庭や子供たちとの連絡を取っているが、虐待という事実は報告を受けていない。

議員 このような事案が起きたときの対策は。

教育長 学校ではスクールカウンセラー等と相談できる体制をとっている。親子が憩える場所やフリースクールのような組織づくり等、取り組み必要がある。

保健福祉課長 妊娠期や出産後の家庭訪問や乳幼児健診にて、養育環境の把握をしている。また、子育て相談や母子の健康相談等で、不安の軽減や解消に努めている。

議員 家庭の中に入り、子どもの虐待等を確認することは、非常に困難である。しかし、幼い子どもたちを守るためには、一歩も二歩も踏み込んだ対策が必要ではないか。

教育長 現在、朝の健康観察で担任の先生が子どもの様子を確認しているので、今後も続けていきたい。



議員の想い

子どもには愛情をもって



高橋弘展 議員

人口減少に歯止めがかからない原因は ― 村長 発信力や定住のための住宅が不足

議員 人口維持には0から4歳の人口を保つことが必要。20代前半の男女、30代前半の夫婦と

4歳以下の子ども家族、60代の夫婦の3パターンで4組ずつ毎年定住が進めば人口維持できる。大字単位で考えれば1組ずつになる。移住定住のターゲット及び目標を明確にすべきでは。

村長 大字単位で考えるのはいいアイデア。資料の人口統計などもまず勉強して、総合戦略で真剣に考えていく。

子育て環境について

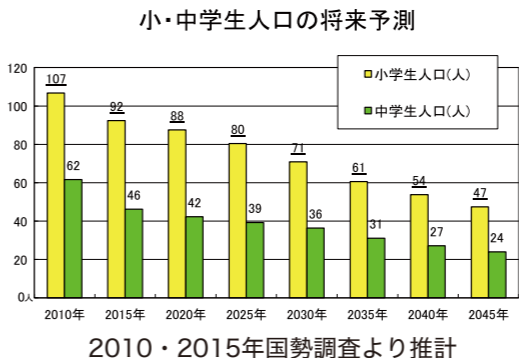
議員 核家族化や移住者の増加など村の子育て世帯の環境が変化している。誰もが安心して子育てでき、社会全体で子どもを育てる村へと変化が必要ではないか。

村長 地域の方も一緒になって子育てをする考えは重要。平成

31年度には子育て支援プランの策定があるので十分議論する。

議員 ロタウイルス等の法定外予防接種や新生児聴覚スクリーニング検査への助成を検討できないか。

保健福祉課長 接種後の補償問題もあるので慎重に検討する。聴覚検査は費用の一部助成を検討する。



議員の想い

社会全体で子どもを育てる制度づくりを！



大 加減(さじかげん) に行ってきた。

一昨年の豪雨で、当時営業していた大行司駅舎が被害に遭い、昨年5月に自宅を改装し、再開されました。

災害当時、店主の井上佳子(よしこ)さんはお客さんを見送った後店を閉め、午後2時くらいに自宅に帰っていたそうです。「お店が被害を受けたことを何も知らずに翌日避難所に行った



店内の様子とランチの一部

際に、状況をご存じの皆さんから心配して声をかけてもらったことを今でも覚えています。」と。「まさか、店が壊れるとは思っていませんでした。大行司駅舎の匙加減はその時から時間が止まっています。」と井上さんは語られました。

場所は変わりましたが、前の雰囲気をそのままに。食事は以前と同じく要予約だそうです。

皆さんに

もっと

「議会ウォッチ!!」

議会広報モニター制度が始まります



広く村民から意見や提案を聴き、よりわかりやすく、より親しまれる内容の充実を期するため、議会広報モニター制度を設けます。任期は1年間で、4回ある議会広報発行後にモニターの皆さまに「議会ウォッチ」のご意見・ご感想をお聴きし、次回号発行の参考にさせていただきます。また、年に1度広報委員と懇談の場を設け、ざっくばらんに日頃議会だよりに感じていることなどをお聴きすることを考えております。選考方法等は以下のとおりです。

東峰村議会広報モニターについてのお願い

2019年度より開始!

選考については、年齢・性別・地区別等を考慮し、無作為抽出で選定させていただきます。

対象となる方は (1) 東峰村内に住所を有し、年齢が満16歳以上の方

(2) 東峰村職員でない方 等

任期は1年間とし、

モニター定数は14名以内を予定しています。

皆さまのご協力よろしくお願いたします。



編集後記

新元号も発表され5月から令和の時代が始まります。皆様と共に新しい時代を迎え、新天皇御即位が慶賀に堪えません。

入学式も終わり、新一年生が登校する時期になりました。進学や就職等で新しい生活を始められた方達もおられると思います。

議会広報委員会でも新しい取り組みとして、村民の皆様モニターになっていただき議会へのご意見や要望等を、活用してまいりたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。

(長澤 貞義)

議会広報特別委員	高橋 弘展
委員長	長澤 貞義
副委員長	高倉 寛視
委員	梶原 光春
委員	梶原 伯夫
委員	佐々木 紀嘉
発行責任者	佐々木 紀嘉